

地域と共
同子どもを育
てる学校

新宿区地域協働学校

運営協議会だより

No.12 平成29年3月

新宿区立戸山小学校 校長 山崎 涼二
地域協働学校運営協議会 代表 大浦 正夫

第11回 地域協働学校運営協議会が開かれました。その内容をご報告します。

日時 2月23日(木) 13:30~

場所 戸山小学校 会議室

(代表挨拶 大浦代表)

皆さんこんにちは。いつもお忙しい中ご出席ありがとうございます。今月2月3日は節分でした。節分には鬼がつきものですが、現代では、鬼は子どものトラウマになるのでやめてほしいなどの話を聞き、私はがっかりしました。昨年の暮れは、餅つきがノロウィルスにより中止、除夜の鐘に苦情、節分になると鬼が怖いなど日本の伝統文化が薄れていくように感じ寂しくなります。一方、秋田県の民族行事“なまはげ”では、鬼の面、ケラミノ、ハバキをまとって、「親の言うこと聞がね子はいねがー」「泣く子はいねがー」などと奇声を発しながら練り歩き、怠惰や不和などの悪事を諷め、災いを祓いにやってくる行事があります。この行事はおのずおのずと小さな子どもたちの教育になっていると思います。そして秋田県の子どもたちは素直で勉強熱心とのことです。文部科学省が実施している全国学力テストでの1,2位は、常時秋田県とのことです。私は、なまはげのような行事があつて、親の言うことを聞き勉強も一生懸命しているのではないかと思います。そして3世代同居という家庭、隣近所の絆、付き合いなどの環境が大きく影響しているのではないかと思います。それでは、第11回 運営協議会を始めたいと思います。

(学校の状況について)

- 6年生の児童へ卒業に向けて、今まで何を学び、後輩たちに何を伝え残し、今何をしていけば良いのか、などを考える授業時間を作り、子どもたちと会話をしながら話をしたいと考えています。長なわとびを子どもたちはよく頑張りました。大会では低学年、中学年が上位になり高学年が悔しがっていました。記録も素晴らしかったです。
- 言葉について改めて指導をしていきます。「です」「ます」をつけて話すことの指導を行っています。つけないで話している場合は、必ず注意して言い直しをするという指導をしていきます。
- 新宿区が行う学力定着度調査の結果が出ています。学力が全体的に上がってきています。
- 学校アンケート最終集計結果を配布し説明しました。回収率は今回89.1%でした。以前地域協働学校運営委員の皆さまに、外国語の設問作成のご意見をいただき実施した結果、70%代だったものが、90%まで上がった成果があります。回収率は学校への関心度の現れになります。回収率100%を目指し改善を重ねたいと思います。ご意見などありましたら次回ご提示をお願いします。
- 屋上緑化がほぼ完成してきました。5月連休後くらいには使用開始になると思います。虫や鳥、自然の中で子どもたちが触れることができるとと思います。今校は庭の花壇に菜の花が咲き誇っています。ミツバチが来て、後ろ足に花粉団子をつけて巣に運び、えさとするわけですが、子どもたちと観ていますと、“先生怖くないの?”と“怖くないよ、何もしなければ、ミツバチは刺さないし、攻撃した時に1回刺すとミツバチは死んでしまうのだよ”などの会話ができるのです。

(支援部の進捗状況について)

○あいさつ運動支援部

- ・あいさつは定着しています。学生さんたちもよくあいさつをしてくれます。校帽を被っていない児童が見受けられます。校帽を被ることは地域のお子さんが分かるという意味でも大切なことです。
- ・平成30年の日程で、3月の第3水曜日が祝日となります。来年度になりましたら日程の変更をお伝えいたします。

《第18回 あいさつ運動》

日時：3月15日(水) 児童の登校時(おおむね 7:50~8:25)
場所：子どもたちが割合多く登校する箇所、交差点など

※保護者の方々のご参加もお待ちしています。PTA名札をお付けいただき、通学、通行する子どもたち・方々に「おはようございます」などのあいさつ、声掛けをお願いいたします。

○学習支援部

◇太鼓支援

・練習が始まっています。PTAから締め太鼓と台が贈られました。子どもたちも喜んで練習に励んでいます。

◇放課後算数教室(株式会社 四谷大塚)

・日本語教育の必要なお子さんの対応を考えていきたいと思います。国外からの編入生は今年度戸山小学校が一番多いのです。

(情報・ご意見)

○秋田県は、学力テスト石川県と並んでいつも1位の結果を出しています。理由として、自然環境の豊かさ誘惑環境が少なく図書館での勉強、学校での勉強が日常の習慣にあるようです。また、小中高生が自然に帽子を取りあいさつをします。大家族制でコミュニケーションをとりながらの食事、ご近所との関係も良いなど生活習慣の環境が影響しているのではないのでしょうか。

○ICT環境について、新聞等で東京都渋谷区は、区立の全小中学校において児童・生徒・教師に1人1台のタブレットを配備することを決めたとのこと。新宿区に計画はありますか。

→新宿区には計画がありません。

○地域協働学校運営委員会での給食試食会を、小学校PTA主催 新1年生、転入生保護者向けの給食試食会への参加にできないのでしょうか。保護者と地域の方々との関わりがもてるのではないのでしょうか。

→とても良い案だと思います。小学校の給食試食会は、6年生の移動教室時に空いている6年生の教室を使用します。例年参加保護者が多く席の確保が難しい問題がありますが提案したいと思います。

○2年生のタグラグビー教室を見学しました。2年生は元気で体も大きいですね。3・4時間目と2時間続きで水分補給をとるくらいの少ない休憩時間にも関わらず、元気よく運動していました。運動能力、理解力コミュニケーション能力、継続する力どれも高く感じました。他学年でも学習できれば良いのではないのでしょうか。

○5年生の総合的な学習の時間で「心のバリアフリーを目指して」の単元で、新宿トライ工場の皆様のおかげにより、車いす体験、言語障がい体験授業がありました。社会福祉協議会の方が、先生から事前に子どもたちの質問事項の提示があり、子どもたちの聞きたい事を題材にして子どもたち主体の授業を組み立てることができたとお喜びの声を聴きました。先生方の児童への学習目的が明確で、他人任せにする学校も少なくない中、戸山小学校の先生方の力に驚かれていました。スクールコーディネーター、地域協働学校としても、地域の方々のご協力による学習は、様々な企画をご提案できます。多くの学年でご相談いただきたいと思います。

○学校公開授業時に4年生の2分の一人成人式が行われました。保護者の出席率が90%で関心の高さを感じました。

○アンケート集計などの作業は現場の先生がされています。多大な仕事量だと思います。先生の負担を軽減してほしいです。日本語加配の先生など、先生の増員は、新宿区で補うことはできないのですか？

○放課後算数教室での指導を学習塾の先生方をお願いしていることに違和感があります。

○学校選択制度について、平成30年度に小学校は制度が廃止になるとのことですが、平成14年度立ち上げ当初も地域性がなくなる事項と反対していました。

○戸山小学校の地域協働学校は、様々な情報を小学校に提供したいとの心強いご意見、委員の皆さまの穏やかな雰囲気の中での様々な意見交換などがあり、改めて戸山小学校の良さを感じました。ありがとうございます。

出席者（順不同・敬称略）

大浦正夫（代表） 百人町中央町会会長

新倉康夫 百人町中央町会副会長

早川美奈子（副代表） 元PTA会長

柴田澄雄 海城中学高等学校長

乗松好美 スクールコーディネーター

白井和美 民生児童委員

熊木史乃 PTA副会長

山崎涼二 校長

（学校）福井 みどり副校長